

令和3年(2021年)7月16日(金曜日)

# 組合設立 来春にずれ込み

## 三島駅前再開発 完成先延ばし可能性

三島駅南口東街区に健康医療拠点やマンションなどを建設する再開発事業で、今秋にも予定していた組合設立のスケジュールが来春にずれ込む見通しとなったことが15日、関係者への取材で分かった。

事業用地は三島駅南口の駐車場と民有地を含む1・3畧。鉄道から近く、地盤に固い溶岩層が広がるなどの特殊事情があり、これから事業を進めるにあたって工事費や工期が変動するリスクも考えられる。市はゼネコンを設計段階から加えることで将来予測に基づき盤石な計画を立て、安定した事業の推進を図る考えとみられる。

このほか、施設計画についてもホテルの建設を見送り、賃貸住宅やコワーキングスペースなどのオフィスを導入する案が浮上している。マンションが入るタワー棟は高さを変えずに1層増やし、市が取得する予定の駐車場も増加を検討している。計画の認可を見込む。市は今秋にも、基本設計や資金計画の内容について公表する見通しという。

建設工事の特殊性を踏まえ、設計段階からゼネコンの参画を検討するため、2025年度末の完成時期も先延ばしされる可能性があるという。

今後のスケジュールは来春の組合設立認可を受けて実施設計に入り、22年冬に権利変換(三島支局・金野真仁)